

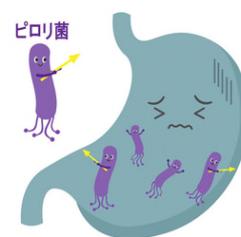
ピロリ菌3次除菌

慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、胃がんなどのリスク要因であるピロリ菌は、除菌治療を行うことで胃がんリスクを下げることができます。ピロリ菌の除菌成功率は高く、除菌が不成功になる方は1割程度です。その1割の方の除菌治療が失敗する原因として、ピロリ菌が薬に対して耐性を持ってしまうことが考えられます。2次除菌不成功の方や、薬剤アレルギーなどで保険外診療のピロリ菌除菌治療を受ける方は、全てが自費診療となります。

当院では、1次除菌・2次除菌だけでなく、保険外診療の3次除菌にも対応しておりますので、ぜひ一度ご相談ください。

対象となる方

- ピロリ菌1次除菌・2次除菌が不成功だった方
- 薬のアレルギーや副作用が原因で保険外診療の除菌療法が必要な方



除菌治療について

「ボノプラザン」

「アモキシシリン、あるいはメトロニダゾール」

「シタフロキサシン」

この3種類の薬を1日2回の7日間内服していただきます。

除菌治療の料金

3次除菌は診察、処方箋、検査、薬代のすべてが保険適用外で全額自己負担になります。

診察料+処方箋料+除菌判定検査料：12,000円（税込）

*初回受診時にお支払いいただきます。検査時、検査結果の説明時に追加費用はかかりません。

薬代は、別途、薬局にて8,000円～10,000円程度お支払いいただきます。

副作用

主な症状は、下痢や軟便ですが味覚障害などの副作用もあらわれます。その他に、肝機能障害も確認されていますが、自覚症状はほぼありません。

痒みや発疹、発熱などのアレルギー反応があらわれた場合には注意が必要です。すぐに医師や薬剤師にご相談ください。

1) 軟便、軽い下痢などの消化器症状や味覚異常が起きた場合

自己判断で服薬を止めてしまったり、量を変更したりせず、最後まで服薬してください。

下痢や味覚異常の症状がかなり悪化した場合は迷わずご相談ください。

2) 発熱や腹痛を伴う下痢、下痢に粘液や血液が混ざっている場合、または発疹の場合

すぐに薬を飲むのを中断し、医師か薬剤師にご相談ください。